

気候変動リスク・機会の評価等に向けたシナリオ・データ関係機関懇談会

- 金融機関および企業が気候変動への対応のために、リスク・機会の分析と評価を行うには、専門的な知見が必要な気候変動関連データ(シナリオデータも含む)の適切な利活用が不可欠。
- 金融庁、文部科学省、国土交通省および環境省が連携し、データの提供や利活用を促すため、民間金融機関・企業等と双方向で意見交換を行う懇談会を22年12月に設置、23年6月に課題等の論点整理を行った。

懇談会の関係者と気候変動関連データにおける取組

文科省	データの創出、統合・解析及び提供
環境省・国環研	気候変動影響予測・適応評価、民間企業および地方公共団体の適応取組支援
国交省	洪水浸水想定区域図等の水害リスク情報の提供、洪水リスク評価の支援
気象庁	気象観測データや解析結果、予測情報の提供
金融庁	金融機関の気候関連シナリオ分析の試行（日銀と連携して実施）
日銀	物理的リスクの経済・地価・金融機関財務への影響分析等
民間金融機関・企業	リスク・機会の分析、経営の意思決定

懇談会で共有された主な課題

- データの創出・提供体制等
 - 利用可能なデータを一元的に把握できる環境整備
 - データ提供側と利用側の対話の場の設定、ニーズに応じたデータ開発と有効利用の環境整備
- データを用いたシナリオ分析等のリスク・機会の評価
 - シナリオ分析の代表例や他社事例の情報収集
- シナリオ・データの不確実性

今後の懇談会について

- 政府で整備しているデータの一覧化(23年6月末)
- 気候変動対応・適応の検討における段階ごとの関係者を交えた意見交換を継続的に実施
- 双方向のアイデア共有を通し、具体的な施策を議論

データを活用した気候変動対応・適応の検討の段階

データとリスク評価手法について、分析の目的に応じて適切に活用されるようわかりやすく共有・浸透

検討の段階	データ収集: 気候変動関連	データ収集: 社会(事業)関連	財務影響等の予測	経営判断
	気候予測・自然災害 <データセット2022(DIAS)、A-plat、官公統計>	農作物や生態データ サプライチェーン工場立地 <業界・自社データ、論文>	生産・漁獲量の増減 災害被害予想額 分析結果の開示 <調査研究、開示>	事業分野の変革 新技術の開発・導入 防災投資 <TCFD、経営方針等>
課題	利用可能なデータが点在 活用を促す説明・例の不足	データの組合せや分析の事例・知見が少ない 利用可能データが点在 影響分析の論文等が不足	データの組合せや分析の事例・知見が少ない 必要な気候・社会データを必ずしも特定出来ていない	経営判断につながるデータ活用の成功事例が不足
関係者	関係省庁 等	学会、業界団体、自治体 関係省庁 等	データ企業、事業会社、 関係省庁、日本銀行 等	事業会社・金融機関、 コンサルタント 等
現在・今後の取組み	個別データの一覧化 データの平易な説明 具体的な使用例提示 英語版の提供を含む説明	活用可能データの共有 データを活用した予測・対応の実績・アイデアの共有 産業・自然への影響分析、 影響データの整理・共有	企業等の開示の充実 データを活用した予測・対応の実績・アイデアの共有 データを経営につなげる 知見の共有	経営判断への織り込み ファイナンスや対話の実施 気候変動対応・適用支援

(企業からの二酸化炭素の排出削減、企業のレジリエンス強化)
気候変動の緩和・適応

経営・事業運営で重要となるデータ、分析すべき影響、利用方法等のアイデアの検討・課題感の共有

双方向での課題認識・アイデア共有の重要性に留意しつつ、議論を進める

シナリオ・データ懇談会の今後の進め方（案）





- 気候変動関連データの利活用における課題やアイデアについて、省庁関係者による企業ヒアリングを実施している。企業名等の支障のある情報を伏せた上で、本検討会にてヒアリング内容を報告する他、各業界からのデータに係るニーズやデータ利用を想定した場合の課題等をプレゼンいただき、懇談会としてデータ利活用に向けた議論を行う。
- こうした議論を行いつつ、具体的にはデータ利活用を行いやすい環境整備の在り方、例えばデータ一覧の改善や企業担当者におけるリスク分析に役立つポータルサイトの整備等の具体的な施策も含めて、ご議論いただきたい。

懇談会	データ利活用に向けた議論のテーマ	(参考)主な検討の段階
第7回 (10月10日)	・省庁の取組みについて情報共有	データ収集、 財務影響等の予測
第8回 (11～12月)	・ <u>コンサル企業</u> によるデータ利活用や顧客企業のニーズ等	財務影響等の予測、 経営判断
第9回 (1～2月)	・ <u>二次データを提供する官・民・アカデミア</u> の取組みや課題等	データ収集： 社会(事業)関連
第10回 (2～3月)	・ <u>データを利活用する事業会社</u> (食品・流通・製造業等の複数業界を想定)の潜在的なニーズや課題等	財務影響等の予測、 経営判断
第11回 (4～5月)	・ <u>資産運用会社</u> の投融資先が行うリスク分析の評価や、 企業に対して期待する分析等 ・論点整理等の文書案の提示	経営判断
第12回 (5～6月)	・最終文書の提示	—

ヒアリング内容のご報告および
各業界からのプレゼン

検討の段階別において想定される課題例

- データとリスク評価手法について、分析の目的に応じて適切に活用されるとともに、気候変動適応に向けた行動を促進するため、各段階における課題や潜在的なニーズ、アイデアをより深掘りし、データ利活用を行いやすい環境整備の在り方に関する具体的なヒントや論点を洗い出していく

	データ収集:気候変動関連	データ収集:社会(事業)関連	財務影響等の予測	経営判断
検討の段階	気候予測・自然災害  <データセット2022 (DIAS)、A-plat、官公統計>	農作物や生態データ  サプライチェーン工場立地 <業界・自社データ、論文>	生産・漁獲量の増減  災害被害予想額 分析結果の開示  <調査研究、開示>	事業分野の変革  新技術の開発・導入 防災投資 <TCFD、経営方針等>
(再掲)課題	利用可能なデータが点在 活用を促す説明・例の不足	データの組合せや分析の事例・知見が少ない 利用可能データが点在 影響分析の論文等が不足	データの組合せや分析の事例・知見が少ない 必要な気候・社会データを必ずしも特定出来ていない	経営判断につながるデータ活用の成功事例が不足
想定される課題例	基礎データの存在を知らない データ項目とサイズが大きく、 利用方法が分からない 条件設定や用語が難しい	リスクを把握したい分野の 二次データが見つからない データの解釈や活用に専門 的な知識が必要	リスクを把握したい分野の 分析手法の存在、活用方法 が分からない 複数ある分析手法の精度判 断が難しい 財務影響の分析手法に関す る情報や文献が不足	リスク分析にリソース配分が 十分できていない リスク・機会の評価結果、取 りうる適応策が分からない
方向性(案)	データ一覧化の改善 用語やデータの見方の解説 活用方法の提示	気候変動影響に係る文献の 一覧にサマリーや検索等の 情報・機能を付加 他省庁への働きかけ	予測手法の紹介 文献の著者にコンタクトしや すい環境整備	企業に対しデータ一覧や活 用例の所在等の周知・浸透 を図る

→ 想定される課題をヒアリング等を通して確認し、必要な環境整備の在り方を検討する